



# デンマーク式 楽しみながら学ぶ 子ども自転車教室

◎自転車に乗り始める時期である幼児を対象に、キックバイクを用いて楽しみながら学ぶ実技型の教室

**目的** 自転車に乗るためのバランス能力などの運転スキルを養うことに加え、他者への思いやりや危険回避能力についても学ぶことを目的としています。

## 3つのねらい

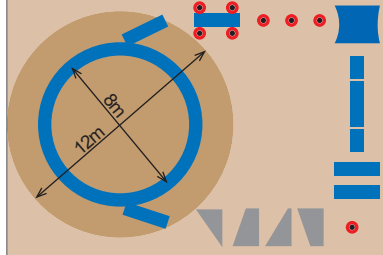
- ① 自転車に乗ることの**楽しさ**を感じる
- ② 楽しく効果的に自転車での公道デビュー時に必要な技能を段階的に習得する  
「まずは**自転車の安全**、そして**交通安全**」
- ③ 子どもの多面的な**自己開発**を促すと共に、ぶつからないよう他者を思いやるなどの**社会性**を育む

## 実施内容

### 実施スタイル

人数：10～12名のグループ単位で実施  
時間：フィッティングを含め概ね1時間（適宜休憩あり）

広さ：概ね14m×20mが基本



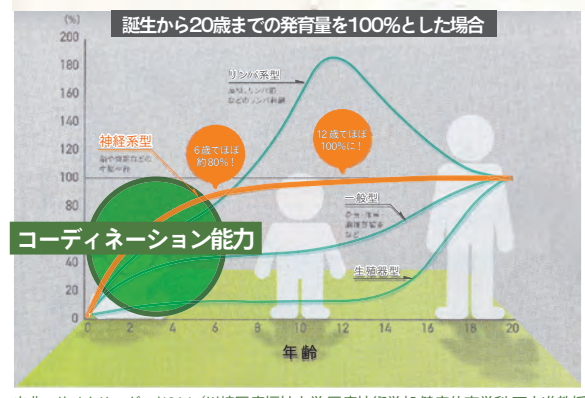
※車が来ない平坦な場所で実施

### 準備

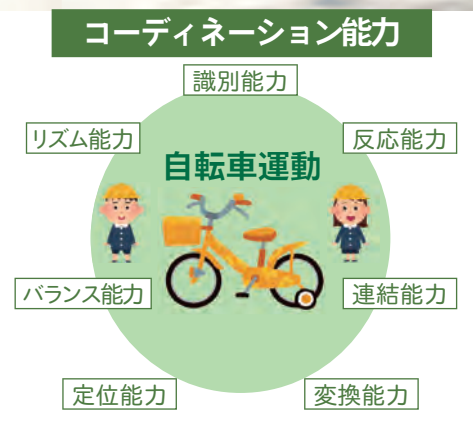
#### フィッティング

- ヘルメットを着用し、正しい被り方を学習
- 名前シールをヘルメットに貼り、名前前で呼び合うコミュニケーション
- 滑り止め付き指切り手袋を着用
- 共通のビブスを着用（仲間意識とモチベーション向上）

使う自転車：ブレーキ付きキックバイク



出典：サイクリングD014 (川崎医療福祉大学 医療技術学部 健康体育学科 西本准教授)



未就学児への自転車安全教育は **人間教育の第一歩**

## 自転車ゲーム

◎ゲームの中で交通標識や信号機を取り入れて交通ルールを学ぶ

- | 初級      | 中級       | 上級       |
|---------|----------|----------|
| ○バタバタ   | ○凸凹アイランド | ○シーソー    |
| ●シャボン玉  | ○ジグザグ走行  | ●ビヨーン    |
| ○サークル走行 | ○大股走行    | ○バランスボール |
| ○楽器鳴らし  | ○脚上げ     | ○トンネル    |
| ○リング渡し  | ●スロープ    | ○大波      |
| ○リング取り  |          | ●ウォッシング  |
|         |          | ○パレード    |



## デンマーク式自転車教室をベースにゲームスタイルを確立



### ●シャボン玉

シャボン玉を追いかけてたたく

- 他人をたたかない
- 転ぶのを防ぐ



### ●ビヨーン

勢いをつけて両脚を上げながら進む

- 倒れないようにバランスをとる



### ●スロープ

スロープを上って下りる

- 倒れないようにバランスを取る
- スロープで脚を上げる



### ●ウォッシング

洗濯バサミと布をそれぞれ取りに行き、ゴールバーに干す数をグループで競う。

- 他の人と接触を避ける
- ルールを理解して守る
- 速さが要求される

## 自転車教室の実績等

- ・京都市自転車安全教育プログラムに掲載 (p19)
  - ・ライフステージ別の自転車安全教室の「幼児の実技」を担っている
- | 地域       | 実施数  |
|----------|--|
| 京都市      | H29年度 7 保育園<br>H30年度 10 保育園<br>+ 12 幼稚園<br>今年度も実施中                         |
| 他都市      | ・堺市 ・大阪市阿倍野区   |
| その他イベント等 | ・自転車マナーアップフェスタ in KYOTO<br>・スマイルサイクルフェスタ in 大阪<br>・猿楽祭 2018 in デンマーク大使館 など |

## その他の自転車教室の取組



- インクルーシブサイクリングの手引きを活用した障がい者自転車教育プログラムの地域展開【写真⑥】
- 小学生を対象とした自転車教室（ペダル付き自転車使用）【写真⑦】
- 高齢者を対象とした自転車教室

## 実施した保育園・幼稚園の先生へのアンケート結果 (回答者数 48人)

園児の反応	教育的に有効	今後の実施希望
<ul style="list-style-type: none"> <li>まあまあ 楽しそうだった 10%</li> <li>とても楽しそうだった 90%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無回答 2%</li> <li>まあまあ そう思う 38%</li> <li>とても そう思う 60%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どちらでもない 4%</li> <li>できれば 実施したい 33%</li> <li>是非とも 実施したい 63%</li> </ul>

- ・子どもたちの様子を見ながらのプログラム進行が良い。
- ・実際にキックバイクに乗ると、乗れない子どもも、いつもすぐに飽きてしまう子も根気よくチャレンジしていた。
- ・話を聞く、考えるなどのことが遊びながらでき、マナーについても知る機会となった。
- ・子どもたちがとても楽しそうで、生き生きしていました。意外な子どもが得意なことに気付きました。話を聞いて集中できていたことも発見でした。